特別講演会が開催されました

去る 2025 年 5 月 21 日、通常総会の終了後に会員組織である株式会社的場製餡所の的場社長、番場工場長、藤田主任の 3 名の方から、現在社内で進められている「経営アセスメント」活動について「社員の幸福となる組織を目指して～組織目的を中心にした風通しのよいコミュニケーションの実現～」と題してこれまでの活動をご紹介いただきました。

まず的場社長が、創業以来代々のトップがどの様な会社にしたいと考えてきたのか、そしてご自身が今たどりついた思いをお話しされました。

その後番場工場長、藤田主任のお二人から、トップの思いを社員たちがどのように受け止めてきたか、また自分自身として何ができるのか、職場の仲間たちはどの様に考えているのか等、「経営アセスメント」活動を通じて新たに気付いたことをお話しいただきました。

トップの思いを語る的場社長

トップの思いをどの様に受け止めてきたかを話す

番場工場長　　藤田主任

その後、岡本正耿氏をコーディネーターにお招きし、参加された皆様との意見交換を行いました。

岡本氏からの問いかけにより、的場製餡所の皆様から、改革のためのコミュニケーションの状態やこれまで実践してきたことへの思いが本音で語られるとともに、参加者の皆様とも活発なコミュニケーションが起こり、とても内容の濃いラボの様相を呈しました。

また最後までご参加された（公財）千葉県産業振興センターの冨沢昇理事長からは、今後、同センター・当協議会の連携を深めていきたい旨のご感想が寄せられました。

参加者と講演者から考え方を引き出す
コーディネーターの岡本氏

参加された皆様とのラボ型の活発なコミュニケーション
（右上は（公財）千葉県産業振興センターの冨沢昇理事長）

経営革新や経営アセスメントは、スキルや知識ではありませんので、今後も当協議会は、知識学習の講演会や研修スタイルではなく、コンピテンシー（思考行動特性）を刺激する内容を目指してまいります。

文責：加藤重正